

令和7年9月19日

山ノ内町議会議員 白鳥 金次 様

山ノ内町長 平澤 岳

「町議会議員による職員に対するハラスメント」アンケート調査の結果報告
及び要望について

日頃、町政運営に対しご理解とご協力を賜り深く御礼申し上げます。

さて、昨今、議会議員による自治体職員に対するハラスメントに関する事案が報道されています。この状況を問題視する一部の地方議会では、職員の人格尊重、議員による職員に対するあらゆるハラスメントの根絶と未然防止を趣旨に、関連条例を制定する動きもあります。

議員と職員という特殊な人間関係を背景としたハラスメントは顕在化しにくいこともあり、仮にハラスメント行為が発生した場合には、不当に職員の尊厳が傷つけられることとなり、最悪の場合、回復不能な肉体的・精神的な被害がもたらされ、人材の損失や行政の停滞を招くことにもつながることから、このようなハラスメントの排除に向け町として未然に対策を進めていく必要があると考えております。

一部報道（紙面）にて当町議会議員による町職員へのハラスメント行為に関する記事（コラム）が掲載されたことを確認しており、今回、現状把握と今後の取組みの参考とすることを目的に、標記アンケートを実施しました。

この調査結果について共有させていただきますので、議会として適切に対応していただきますよう要望します。

記

■「町議会議員による職員に対するハラスメント」アンケート調査について

実施期間 令和7年7月29日から8月8日まで

対象者 正規職員全員 ※特別職（理事者）や会計年度任用職員は除く。

方 法 匿名による選択式アンケート（回答は任意）

※アンケート実施者である総務課においても回答者の情報を追跡できない形の完全匿名であることを前提に実施。

アンケート内容 別添のとおり

■アンケート調査結果

回答者数 57 人

回答数上位 10 項目

- ・ 業務時間外や休日に業務に関する問い合わせを受けたことがある 18 人
- ・ 個人の携帯電話に業務に関する問い合わせを受けたことがある 15 人
- ・ 周囲の職員に対する同様のハラスメントを見聞きしたことがある 13 人
- ・ 議員からの発言や行為によって、業務が何度も中断し、支障が出たことがある 10 人
- ・ 業務時間外や休日に、対応を求められたことがある 7 人
- ・ 議員からの言動により、心身に不調を感じたことがある 6 人
- ・ 不快に感じるような皮肉や嫌味、人格を否定するような発言を受けたことがある 5 人
- ・ 明確な業務命令や手続きを無視して、特定の対応を強く要求されたことがある 5 人
- ・ 議員から大声で怒鳴られたり、威圧的な態度を取られたりしたことがある 4 人
- ・ 議員から自分の業務ではない内容について、調査や対応を強く求められたことがある 4 人

■町の基本的考え方

町は、町全体及び全町民の利益のために公平・公正・中立な立場で業務を遂行する機関です。議員の立場を利用した不当な圧力や、職員個人を標的にする行為は、町政の公平・公正・中立性を損ない、ひいては町民の信頼を裏切ることとなります。

職員は議員に比べて立場が弱く、拒否や反論が困難であるため、両者の間ではハラスメントが生じやすいとの構造的問題があります。この状況を常に確認し改善することは、町組織及び職員を守るため、また健全な議会と執行部の関係を築くために不可欠なものと考えます。

このことから、町では議員の職員に対する各種ハラスメント行為の防止等に対しては今後も毅然として取り組んでまいります。

なお、町では令和3年に「山ノ内町職員のハラスメント防止等に関する規程」を制定し、職場におけるハラスメント防止及び排除のための措置並びにハラスメント及びハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置について必要な規程を定め、これに基づき各種取組みを進めていることを申し添えます。

■要望事項

町議会として、アンケート調査の結果を真摯に受け止め、以下の点について取り組まれることを切に要望します。

- 1 事故や災害など緊急対応を要する場合を除き、業務時間外（休日を含む）における連絡は行わないこと。特に職員個人の携帯電話等への連絡は行わないこと。

- 2 職員が不快に感じる言動や人格を否定するような発言は行わないこと。
- 3 必要以上に長時間に渡る職員の拘束や担当業務の範囲を超えた資料要求等を行わないこと。
- 4 他市町村議会での取り組み等を参考に、議員と町職員の適切な関わりに関する規定を策定する等、ハラスメント行為の未然防止に向けた取り組みを行うこと。

議会と執行部は、ともに町民のために存在する対等なパートナーであり、双方が互いを尊重し、公正で健全な関係を築くことが、町民の信頼と安心につながると考えます。

以上、議会におかれましては、本趣旨をご理解いただき、再発防止に向けた真摯な対応を強くお願い申し上げます。

以上

(参考) アンケート調査票

(山ノ内町職員) 町議会議員による職員に対するハラスメント実態把握アンケート

アンケート実施の趣旨

昨今、議会議員による職員に対するハラスメントについて、いくつかの事件が報道されています。この状況を問題視する一部の地方自治体では、職員の人格尊重、議員による職員に対するあらゆるハラスメントの根絶と未然防止を趣旨に、関連条例を制定する議会もあります。当町では個別具体的に問題となっているケースは発生していないと理解していますが、一部報道（紙面）にて議員による職員へのハラスメント行為に関する記事が掲載されたことも確認しています。

議員と職員という特殊な人間関係を背景としたハラスメントは顕在化しにくいこともあり、仮にハラスメント行為が発生した場合には、不当に職員の尊厳を傷つけることとなり、最悪の場合、回復不能な肉体的・精神的な被害をもたらし、人材の喪失や行政の停滞を招くことにつながることから、ハラスメント排除に向け未然に対策を進めていく必要があります。

今回、現状把握と今後の取組みの参考とすることを目的に、議員による職員に対するハラスメントについてのアンケートを実施することとしました。

回答方法および諸注意

以下の設問に対し、過去1～2年間程度を振り返って、該当するものがあれば「はい」、該当しないものには「いいえ」でお答えください。

なお、本アンケートの回答者情報については、町議会議員はもちろん、アンケート実施者である総務課でさえも追跡できない完全匿名形式で行われているものであることを理解いただいた上で、下記質問にお答えください。

重大な内容があった場合は、今後具体的に調査を行っていく予定です。

◆ 業務上の「妨害・強要」に関すること

1. 議員からの発言や行為によって、業務が何度も中断し、支障が出たことがある。
2. 議員から、自分の業務ではない内容について、調査や対応を強く求められたことがある。
3. 業務時間外や休日に、業務に関する問い合わせを受けたことがある。
4. 業務時間外や休日に、対応を求められたことがある。
5. 明確な業務命令や手続きを無視して、特定の対応を強く要求されたことがある。
6. 業務の進め方や判断について、繰り返し不適切な干渉を受けたことがある。

◆ 「身体的・精神的な圧力」に関すること

7. 議員から大声で怒鳴られたり、威圧的な態度を取られたりしたことがある。
8. 不快に感じるような皮肉や嫌味、人格を否定するような発言を受けたことがある。
9. 断ることが難しい状況で繰り返し不快な言動を受けたことがある。
10. 何らかの報復（評価への影響、職場内での扱い等）を示唆されたことがある。

◆ 「私的な関与・不適切な関係」に関すること

11. 個人の携帯電話に業務に関する問い合わせを受けたことがある。

12. 議員から、断りづらい雰囲気ですりや飲酒に誘われたことがある。
13. 議員から、私的な買物や送迎など、公務外のことを頼まれたことがある。
14. 議員から、個人の連絡先を求められたり、執拗に連絡を取ろうとされたことがある。
15. プライベートなことに必要以上に干渉されたと感じたことがある。

◆ 「その他の不適切な行為」に関すること

16. 議員からの言動により、心身に不調を感じたことがある。
17. 周囲の職員に対する同様のハラスメントを見聞きしたことがある。
18. 自分の対応に不備がないにもかかわらず、不当な非難を受けたことがある。
19. ハラスメントと感じる言動を受けたが、相談先がわからず我慢したことがある。

◆ 自由記述欄（任意）

上記設問に該当する具体的な事例、記載しきれない内容、設問にはなかった項目や事例、または今後の対応についてのご意見があれば、ご自由にご記入ください。